

6月定例会  
大桑橋整備工事  
請負契約を可決 …………… 3  
村政を問う  
5人が一般質問 …………… 6  
キラリ！中学生③  
男子バレーボール部 …………… 12

議会だより

お

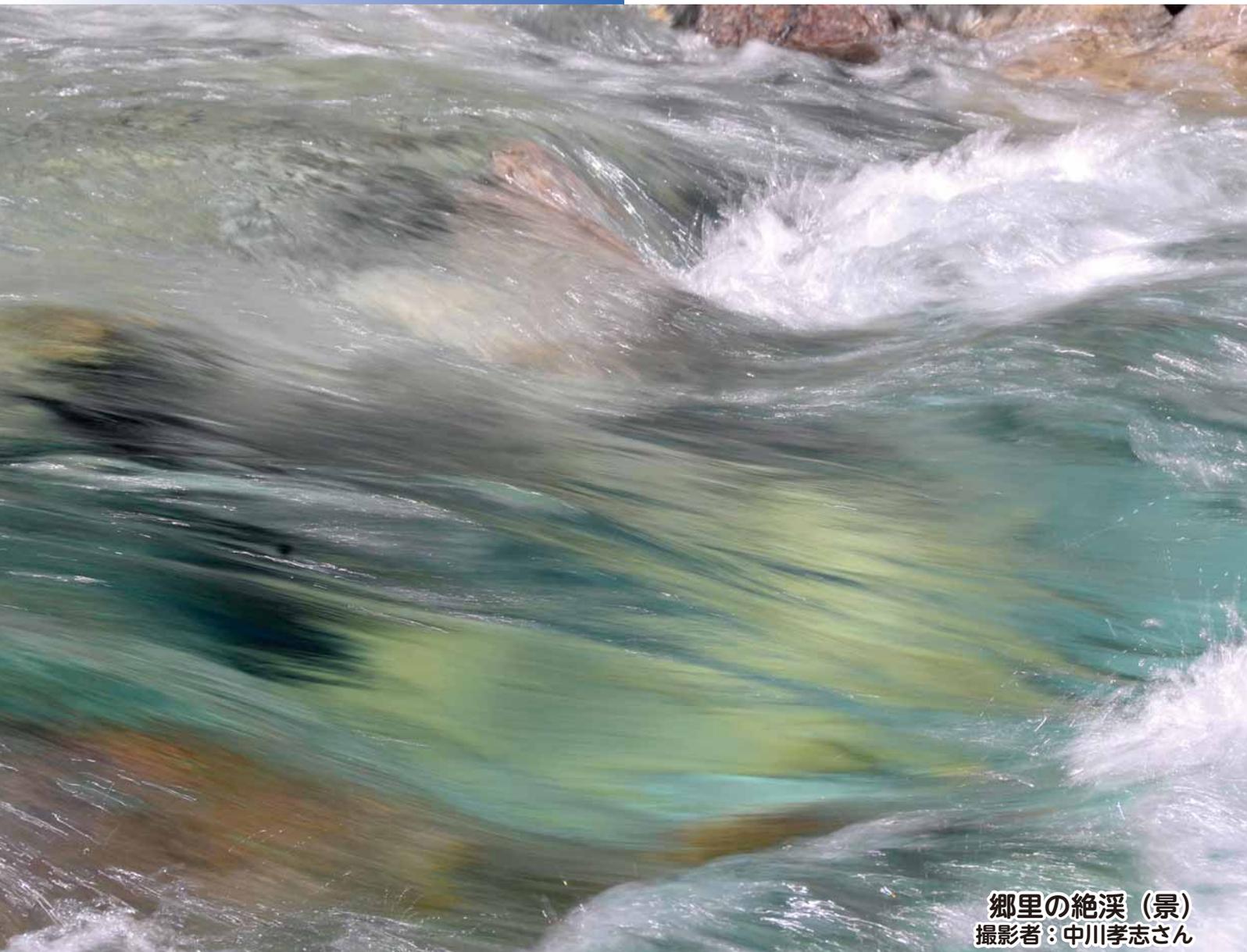
お

わ



第153号

平成30年  
7月26日発行



郷里の絶溪（景）  
撮影者：中川孝志さん

## こんなことが決まりました 大桑橋整備請負契約 3億7千万円を可決

6月定例会は、6月14日から22日までの9日間の会期で開かれ、委員長報告、組合議員報告、議長報告、行政報告、監査報告の後、一般質問（5名8件）が行われた。村長提出議案は、報告3件、承認1件、条例改正2件、工事請負契約1件、村道路線変更1件、補正予算3件が上程され慎重審議し可決した。

### 報告

●議会の委任による専決処分

地方自治法の規定による、日切れ扱いの法改正に伴う税条例及び国民健康保険税条例の關係条文改正

●繰越明許費の決定

平成29年度から30年度に繰越する事業と額の決定。主な繰り越し事業は次のとおり。

（一般会計）

- 大桑橋整備事業 3億5015万円
- 村道阿寺線舗装改良事業 1878万円
- 村道下在旧道線改良事業 1022万円

### 承認

●専決処分  
平成29年度

一般会計補正予算

（第6号）

特別交付税の額確定と、障害福祉事業補助費の増額、道路新設改良事業費の組み替え及び繰越事業による。

### 条例

●税条例の一部改正

生産性向上特別措置法が公布されたことによる関係条文の改正

●地域優良賃貸住宅管理条例の一部改正

サニーハイツ須原の入居資格について関係条文の改正

### 請負契約

●平成30年度大桑橋整備工事請負契約

契約方法  
指名競争入札

契約金額

3億6828万円

契約の相手方

木曾町三岳  
吉川・奥田建設  
共同企業体

### 村道路線変更

●村道中学校東線

終点について、旧大桑小学校内から中学校西線に変更

### 補正予算

◆地域景観整備事業  
（元気づくり支援金）

●景観整備委託料はどのようなことに使われるのか。

●A スポーツ公園内の花木が老木化してきている。これを撤去し、体育館北

### ◆阿寺溪谷

側へは八重桜を植栽して景観整備をしていく。資料館周りにも引き続き花桃の植栽を考えている。

●村民へのシャトルバス乗車料補助は、どのような方法で行うのか。

●A シャトルバスの村民優待については、広報7月号に優待券を折り込み、優待券と引き換えに乗車券を発行する。優待券の発行は、広報一冊につき4枚を折り込む予定。1枚で4名の使用ができる。

●優待券については、大人、小人の料金の区別はあるか。

●A 優待券については大人と子どもの区別はない。

●借り上げるパイプテントの用途は。

●A 雨宿りや日よけ、バス待合用に使用する。

●あてら荘の乗降場所にも待合所の設置が必要と思われるが。

●A 旧温泉館を開放して利用してもらう。バス待ち時間に飲食の場所があってもよいと思うが。

●A 商工会で業者の募集をし、今後協議していくと聞いている。

### 平成30年度 会計別補正状況

（単位：万円）

会計名	補正額	補正後の予算額	主な内容
一般会計	7,372	40億8,672	庁舎建設基金積立追加 5,000 村道伊奈川一号線ほか災害復旧工事 626 村有住宅解体工事 310 消防団運営経費追加 150 施設入所者増による負担金増 761 地域景観整備事業（スポーツ公園ほか） 183
国民健康保険事業特別会計	758	3億8,921	一般療養給付費等負担金返還金 1,340
農業集落排水事業特別会計	27	9,719	公用車更新による 27

◎4月27日開催

▼視察調査

本年4月より本稼働となった、新ごみ焼却施設及び木曽消防署消防施設の視察調査を実施。

・新ごみ焼却施設

ストーカ式燃焼装置を採用し、処理の過程で発生する排ガスは有害物質除去を行い、排水も外に出さないクローズドシステム等を備えた環境に配慮した施設である。また、ごみ焼却で発生する熱エネルギーを場内の融雪、給湯冷暖房等に利用するサーマルリサイクルを行っている。

・木曽消防署消防施設  
消防救急無線のデジタル化に伴い、山頂基地局を2局増設し5局体制とした。これにより、通信エリアの確保・火災広報の敏速化・各市町村消防団との通信確保、機能強化が図られた。また、高機能消防通信指令台の設置により、NTT固定電話・IP電話・携帯電話からの119番通報が一つの装置で受信できるようになった。

通報場所がモニターの地図上に表示されるため、災害場所の特定が瞬時に捉えられることにより、現場到着時間の短縮につながっているとの説明を受けた。

所感

本稼働となった新ごみ処理施設については、地球にやさしく、美しい木曽の自然環境を守るため、今後もリサイクルの推進等ごみ減量



木曽消防署視察

化に対する意識を高める必要がある。そのための活動として、小中学生や住民の施設見学や広報誌等による啓発を積極的に行ってほしい。

木曽消防署消防施設については、安心安全の地域づくりに欠くことのできない機能組織である。厳しい財政状況下であるが、今後も計画的な施設整備を行ってほしい。

(報告者 鈴木 武)

行政報告(抜粋)

平成29年度決算速報

平成29年度一般会計の実質収支は、8800万円となった。

木曽病院の現状

平成30年3月から患者が住み慣れた場所である安心して療養生活を続けるための支援を行う地域包括ケア病棟を開設した。

坂下病院の現状と今後

中津川市は、平成29年3月に中津川市新公立病院改革プランを策定した。これまで、坂下病院の3階病棟を閉鎖し坂下老人保健施設を移設、夜間、休日の救急患者の受け入れ中止、入院手術を市民病院に集約するなどの取り組みをしてきた。また、平成29年12月に設置した外部委員による中津川市公立病院評価委員会において、新改革プランの進捗状況の検証と評価を行い、平成30年3月2日に市長に提言書が提出された。

今後の動向を注視していく。

森林環境税創設の今後

森林環境税、森林環境譲与税について、今後関連法案が平成31年の通常国会に提出される見込み。

大桑橋上部工製作架設工事

橋梁の概要は、鋼3径間連続非合成箱型橋、橋長153・5m、幅員9・5×8・5m、歩道2・0m、製作重量約499t、工期は2018年9月から2021年3月となっている。

スポーツ公園陸上競技場公認結果

陸上競技場第4種公認検定が5月20日に行われ、日本陸上競技連盟施設用器具委員会が審議した結果、走路、助走路の勾配が大きく最大斜度を超えている等の理由で不合格となった。この報告を受

け村は、4種公認を受けず、数年ごとに整備は行うが、斜度の修正等は行わないこととした。

木曽地域就業促進・働き方改革戦略会議

地域内の産業における人材の確保や就業促進、働き方改革の推進を図るため行政や産業団体などの関係機関で構成する木曽地域就業促進・働き方改革戦略会議が設置された。

国直轄砂防事業が決定

年度	事業名	金額
H30	越百第3砂防堰堤事業	4億9,900万円
	下在砂防堰堤工群事業	8,400万円
	細久保砂防事業	2,700万円
	太田第1砂防堰堤事業	1,700万円
	猿沢第1砂防事業	1,700万円
	下洞砂防堰堤事業(新規)	1億2,700万円
H29 補正	下在砂防堰堤工群事業	1億円
	細久保砂防事業	7,000万円

# 木曾広域連合議会報告 定例会 5月31日開催

議案は、専決承認1件、条例の一部改正4件、工事請負契約の締結1件、補正予算2件を可決した。

**平成29年度介護保険特別会計補正予算は、**

介護報酬改定対応システム改修事業補助金の追加による財源振替131万を追加し、総額44億5573万3千円とした。

**条例の一部改正では、**木曾寮あり方検討委員会を削除し、木曾寮建設検討委員会を新設するとした。

情報公開および個人情報保護に関する条例の一部改正では、個人情報保護を図りながらも、自己情報の開示範囲を死者の情報に広げるもの。

このほか、指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部改正と、消防手数料条例の一部改正についても慎重審議し、可決した。

**工事請負契約の締結**

では、平成30年度、旧南部クリーンセンター（大桑村殿）解体工事で、吉川・奥田建設共同企業体と1億8360万円で契約を認めた。

**平成30年度一般会計**

補正予算は、補正額5589万3千円を追加し、予算総額40億2548万1千円とした。

主な内容はケーブルテレビネットワーク光化事業で該当町村工事費確定による増額計上。

**平成30年度介護保険特別会計補正予算は、**

3115万6千円を追加し、予算総額を4億907万8千円とした。内容は第7期事業計画確定による介護サービス給付事業の増額計上。

**全員協議会**

光化（FTH化）補助金申請状況について、平成30年5月22日に内示があった。

**木曾文化公園修繕計画**

昨年度実施した木曾文化公園劣化診断結果では築後28年が経過し建物の諸性能を著しく損なう劣化が見受けられるため大規模修繕が必要であり、平成30年度から20年間の中長期保全計画の策定にあたり、修繕工事費の累計総額が16億8500万円かかるとの試算であ

り、今後改修計画のあり方等を検討していくとした。

**木曾寮移転改築へ**

木曾寮建設検討委員会の位置づけ、建設の流れでは、移転改築への施設建設スケジュールの説明において、平成36年度に新施設供用開始を計画したいとの報告があった。

**災害時の水利確保**

大規模火災発生時における消防水利確保については、郡内民間事業者が所有する、コンクリートミキサー車の活用で加盟団体と協定を締結する報告があった。

（報告者 木戸勘一）

お知らせ

## 議会を傍聴してみませんか

議会は公開が原則ですので、どなたでも傍聴ができます。

傍聴の手続きは、当日に傍聴者名簿へ氏名を記入していただくだけです。

音声告知端末やケーブルテレビの文字放送等で議会の日程をお知らせしています。次回の定例会は9月開催予定です。ぜひお出かけください。

## 町村議会のあり方に関する

# 研究会報告書（総務省）について検討

### 自由討議会

◎開催日 6月15日

議会6月定例会終了後、自由討議会を開催。平成30年3月26日に総務省から「町村議会の

あり方に関する研究会報告書」が示されたことを受け、当議会においても今後の議会のあり方の検討が必要などから、今回示された内容について、5月28日に東京で開催された

町村議長・副議長研修会の会議資料により副議長から説明を受け、今後の検討材料とするとともに、具体的な検討を進めていくことを確認した。



自由討議会

# 一般質問

## 議員5人が 村政を問う

6月定例会の一般質問は14日に5名8件を行いました。次ページより、質問議員が要約したものを掲載します。

### 一般質問とは

一般質問は、村が行うすべての事務や事業に関して何でも質問できる大事な議員活動の場です。年4回の定例会のみで、臨時会ではできません。

#### • 質問時間は40分

大桑村議会では、議員が質問できる時間は答弁を含め1人40分以内です。

#### • 一問一答方式

質問は、一つ質問をして一つの回答を得る一問一答方式です。

この方法は、より問題を深められる方法といわれています。

#### • 事前通告

質問したい議員には、前もって質問内容を記した事前通告書の提出を義務付けています。

# 遊休農地等の活用を 様々な事業に取り組んでいきたい



鈴木 武 議員



活用前の遊休農地

**Q** 前期基本計画の最終年度を迎え、後期基本計画の策定作業が動き始めた。前期計画の実績点検・評価はされたか。また、後期計画に向け、最重要と考えられている施策はあるか。

**A** 評価結果は、低い評価項目もあるが、概ね達成できた。後期計画に向けては、全ての施策が重要と考えている。

**Q** 空き家は、年々増加傾向にある。空き家情報バンク以外に、住民等を交えた協議会を立ち上げ、空き家対策に本格着手する考えはないか。

**A** 空き家は、個人所

有のため、外部者が介入することはどうか。最終的には、所有者の意識の問題。また、委員会が出来ても評論のような委員会ではなく実のある委員会としたいので考えさせてほしい。

**Q** 総合計画と共に目標年次が平成31年度の国土利用計画（大桑村計画）がある。農用地・農地を減らし、宅地・住宅地の面積を増やす等の村の土地利用の計画である。目標値は、計画通り達成できそうか。また、優良農地が、遊休農地になりつつある現状をどのように捉えているか。

**A** 目標値達成は、現段階でははっきりしない。遊休農地については、まず農地として活用することが第一であり、別の方への管理委託・転作に対する助成金紹介・そばづくりへの紹介等を含め、今後



遊休農地の活用（振田地区）

も取り組んでいきたい。

**Q** 総合計画や大桑村計画では、連携と協働の重要性を掲げている。しかし、協働に必要な自治組織構築の機運は、遅々として進んでいない。組織育成に向け、住民への意識改革等有効な支援を行う必要が

あるのではないか。

**A** 現状の組織で十分機能していると認識している。職員の地域担当制で住民との意思疎通も図れると期待している。併せて、駐在員組織も活用し、協働の村づくりを進めていきたい。



細田 光一 議員

# 高齢者施策の遂行について

## 将来的に検討すべき時が来ると思う

**Q** 我が国の家族形態は永らく大家族の時を経過しており、その間社会福祉機能は主に身内や血縁関係の中で処理されてきた。現在では核家族化が一般化しており、それぞれの地域にその機能が委ねられている。各市町村においても様々な取り組みが行われている。



つながりづくり講座

**A** ネット上などで多様に紹介されている取り組み事例は、地域特性等様々な要素を含んだ事例であるから即活用出来る内容ではないが、高齢化施策を進めていく上でヒントや参考になる要素も多々あるのではないかと。昨年にも社協と協力して行ったつながりづくり講座で先進地の方の講演を受け参考にしており、また、全国に先進的な事例があれば参考にしたいので提案していただきたい。

**Q** 「施設での介護生活から在宅介護へ」と国の施策やサポート体制が変わっていく中で、2005年介護保険法改定により生じた地域包括支援センターは木曾郡6町村にあるが、それぞれの地域包括支援センターと、広域に於ける包括支援センター機能が必要になってくると思うが如何か。

**A** 地域包括支援センターについては、それぞれきめの細かい対応が求められるため、小さな単位で行うほうがしっかりケア出来ると思われる。郡内では月に一度担当者の会議があり、情報交換やサービスの平準化を行っている。広域での対応において大きな投資をするFTTH化は、住民の皆様の利便性を考えた事業でなければいけないと考えているので、高齢者福祉、障害者施策等の中で対応を検討していきたい。



デイサービスセンター

**Q** 築30年になる社協の施設について、中期的な視野からのその更新について伺う。

**A** 木曾郡ではごみ焼却施設、FTTH化事業等大きな事業が進行中である。また、村単独として大桑橋掛替えと庁舎建設の大型事業が控えており、社協の施設の老朽化については承知しているが、将来的に検討すべき時が来るのではと思っています。

# 須原地区の大規模商業地域について

## 若者の移住、定住を期待



水野 進 議員



雨天時の木曾川左岸状況

**Q** 今秋、須原地区にホームセンターが開店と聞く。承知しているか。

**A** 把握できていない。

**Q** 店舗建設に関わる必要な措置が無いのか。

**A** 建物の建築確認申請等がなされていない。

**Q** 手続き所要期間は、建築確認は、申請日から35日以内。河川

**A** 協議は、概ね1か月程度。水道は、概ね3日程度。近くに本管が無ければ、申請者において給水管の延長工事が必要で日数を要する。下水道は、申請提出後3日程度。公共柵の工事も、申請者が施工するため早めの申請が望ましい。

**Q** 村の期待は何か。

**A** 利便性向上で新たな人の流れが見込める。生活基盤や環境が整い、住み易さの向上で、若者の移住・定住を期待する。

**Q** 問題や懸念は何か。

**A** 一地区集中での、地区間の偏りや既存店舗への影響である。

**意見** 期待実現には、

木曾南部の中心的地域とし、村発展の原動力とすべきである。バランスと集中の兼ね合いを見極め進めて頂きたい。

また、現店舗側に立てば、国道は堤防代わりでもある。河川内の転石も多く、河床も高いと聞く。また、道路側斜面は、増水による流失や、左岸国道下の低地にある住宅や商業地区へ、堰堤からの逆流による浸水を心配する声を聞く。周辺状況の変化に応じての強化対策が必要と思う。



現店舗と国道19号

**Q** 村の要措置事項は、

**A** 平成27年度から、セブンイレブン下流側の護岸整備を要望しており、今後、整備されると思う。

**意見** 新店舗開店で、

短距離2か所、左折・右折の出入りが頻繁となり、渋滞や事故発生が今以上に危惧される。

**Q** 安全で円滑な交通確保をどう進めるのか。

**A** 新庁舎関連の伊奈川橋交差点改良と同じように、必要に応じて、要望したい。

**Q** 現在、調整や実行段階にある対策は何か。

**A** 須原地区の護岸延長整備を要望している。

**要望** 新大桑橋が完成すれば、右岸道路は、国道交通の円滑化にも有用となる。早期完成への御尽力をお願いしたい。



沼 友行 議員

# 農業の活性化は 遊休農地の活用を増やしていく

## 農業の活性化

**Q** 地方創生のための農業施策は。

**A** 当村は、コメの生産が中心である。転作物に対する補償金を紹介している。ソバに対しては村でコンバインを導入して、地産地消を図っている。和牛農家の皆さんには、負担軽減を進めていくことを考えている。大桑村での栽培に適した出



コンバインによるソバの刈り取り

荷販売できる作物がないか、毎年研究している。移住者等が住居とともに農地を取得できるように、下限面積の特別を設けている。これを利用して移住者等が、農業に携わっていただけるように周知している。地域おこし協力隊は、今後も検討していく。

**Q** 農業に対して積極的にやろうとしている人達には、木祖村など

のように補助金を出してやらないと農業の発展はないと思うが。

**A** 他町村の事例を参考にしながら農業者のための施策を考えていく。

**Q** 休耕地の活用については。

**A** ソバの作付けを増やしていただくことで遊休農地の活用を増やしていく。

## 庁舎の木材使用

**Q** 川上村の保育園を視察したが、保育室の3部屋に、川上村産のカラマツ、根羽村産のスギ、大桑村産のヒノキを部屋ごとに分けて使用してあったが、大桑村でも3村の友好の要の木を使用した部屋をつくるのか。

**A** 図書館や中央ホール等各部屋の内装材に村有林のヒノキやスギを使用するとともに、

村有林交換盟約を結んでいる川上村産のカラマツ、根羽村産のスギについても内装材として使用する計画としている。弓矢分館にも根羽村産のスギ、川上村産のカラマツを使用している。木材を使うことで、親しみやすく、温かみがあって、皆さんが集いやすい庁舎となるよう実施設計を進めていく。

**Q** 村で移住体験をできる木造住宅を新築するつもりはないか。

**A** 今ある村営住宅を使用する。

**Q** 庁舎を建設するのは2年後だが、オリンピックが終わっても人件費や資材の値段は高騰していくと思われる。一年早く前倒しで始めたらどうか。

**A** 予定通り行う。



フローリング材の使用（高知県梶原町庁舎）

# 学校給食の無償化で 保護者負担軽減を 相談しながら対応していきたい



瓜尾美佐子 議員



給食調理室（大桑中学校）

**Q** 長野県がおこなった「子どもと子育て家庭の生活実態調査」によると24・5%が生活困難家庭に位置づけられた。アンケートでも就学にかかる費用の軽減を求める声が4割を超え、こうした実態をふまえ、子育て世帯の経済的負担軽減のひとつとして高校生の通学費助成の検討を求めらる。

**A** 今後の高校再編の動向も見ながら、郡内6町村での広域的な課題として考えたい。

**Q** 全国で学校給食の無料化や助成制度が広がっている。以前の一般質問では、給食は教育の一環であり、将来の課題として検討する必要があるとの答弁ももらっている。本来、憲法では義務教育の無償が明記されており、

給食も無償でなければならぬ。現在、給食費の保護者負担はどうなっているか。

**A** 小学校は一か月4080円で学校納入金の66%、中学校は一か月5291円で学校納入金の51%を占めている。村では昨年度まで米を支給してきた。今年度からは米、パン、麺などの主食費を補助している。

**Q** 義務教育は無償とする立場からも、保護者負担の軽減策としても給食費の無料化はできないか。

**A** 食育の観点から自校方式による給食を堅持することを第一に据え、子育て世代に対する負担軽減は中長期的に常に検討すべき課題と考える。

**Q** 高齢になると聞こえに悩み、補聴器の活用を考える人が増えてくる。補聴器購入に対

する補助制度は。

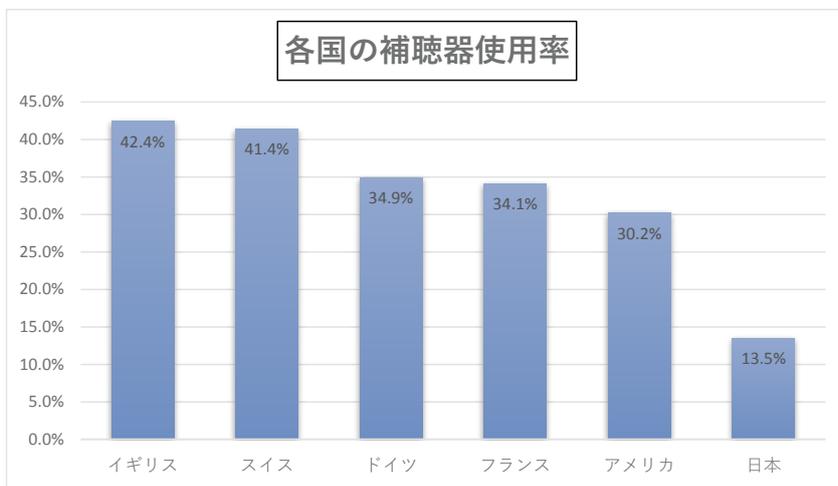
**A** 聴覚障害者に対する原則1割負担の補助制度はある。

**Q** 木曾町では65歳以上の聴力低下の高齢者を対象に、3万円補助している。難聴の放置は認知症につながる可

能性が医学会でも指摘されている。運動や栄養にも関係しており購入への補助金制度と相談活動の充実を求める。

**A** 相談にのりながら、現在の制度を活用していきたい。

各国の補聴器使用率



一般社団法人日本補聴器工業会 ホームページより一部引用  
(<http://www.hochouki.com/about/report/program.html>)

# 議会活動日誌

## 3 月

- 2日 3月定例会
- 5日 3月定例会
- 6日 議会運営委員会
- 12日 3月定例会  
議会報編集特別委員会
- 14日 3月定例会
- 15日 大桑中学校卒業式
- 17日 大桑小学校卒業式
- 19日 阿寺溪谷管理運営協議会
- 20日 大桑保育園卒園式  
大桑村健康増進対策推進協議会
- 26日 社協理事会・評議員会
- 28日 全国森林環境税創設促進議員  
連盟正副会長会議（東京）

## 4 月

- 3日 大桑保育園入園式
- 5日 大桑小学校入学式  
大桑中学校入学式
- 10日 議会報編集特別委員会

- 12日 郡議長会
- 15日 消防団春季総合演習
- 18日 議会報編集特別委員会  
JA 木曾大桑支所総集会
- 21日 国道沿い ゴミ拾い
- 27日 総務社会常任委員会  
村歓迎会

## 5 月

- 11日 木曾広域交流事業 基幹委員会  
郡議長会
- 12日 根羽村植樹祭  
村交通安全協会総会
- 13日 木曾郡少年相撲大会
- 15日 川上村植樹祭
- 16日 木曾地域交通網対策協議会総会
- 17日 村観光協会通常総会
- 19日 大桑小学校運動会  
村商工会通常総会
- 21日 全国森林環境税創設促進議員  
連盟正副会長会議（東京）  
広域議会経済観光常任委員会

- 23日 広域議会福祉環境常任委員会  
広域議会運営委員会  
広域議会総務常任委員会  
木曾南部森林組合総代会
- 24日 全国治水砂防協会総会（東京）  
JA 木曾通常総代会
- 26日 村植樹祭
- 28日 全国町村正副議長研修（東京）  
村木造住宅推進協議会総会
- 29日 社協理事会
- 31日 広域議会第2回定例会

## 6 月

- 2日 村消防ポンプ操法訓練大会
- 4日 議会運営委員会
- 9日 郡町村議会議員研修会
- 12日 郡防犯協会連合会総会
- 13日 社協評議員会
- 14日 6月定例会

## 川上村視察

5月15日、議会では大桑村と村有林交換を行っている南佐久郡川上村の植樹祭に参加。その後、管理してもらっている大桑村のカラマツの森を見学してから視察予定の文化センター、図書館、平成28年4月に開設された「子育て支援センター」と「かわかみ保育園」を案内してもらった。

文化センターは村有林材のカラマツを最大限利用しており、併設されている図書館には、収蔵書籍が5万冊、24時間利用可能な貸し出しコーナーもあり、書籍の他にCDやビデオも貸し出されている。



かわかみ保育園

保育園は、建築材に村のカラマツを使用。LVL（単板積層材）加工によって強度と機能を向上させたカラマツの構造材は美しくあたたかみを感じた。

信州材トライアングルとして村有林交換を行っている大桑村産ヒノキの保育室、根羽村産スギの保育室、地元産カラマツの保育室を元気な子ども達が一緒に案内してくれた。

自然エネルギーの活用では、太陽光発電の他、地中熱ヒートポンプシステムで1年を通じて冷暖房に活用している。

今回の視察は大桑村の庁舎建設に向かったの意義ある視察となった。

（報告者 瓜尾美佐子）



文化センター図書館



「おおくわ議会だより」は環境に優しい再生紙とベジタブルインクを使用しています。

# キラリ! 中学生 ★3

## 大桑中学校 男子バレーボール部

～バレーボールは人間をつくる～



「他人より2倍も3倍も努力し 最後まであきらめない 根性のバレーボールマンになりたい

失敗を人のせいにせず 簡単なプレーほど慎重に扱い 同じミスを二度と繰り返さず 人の気持ちになってものを考えられる 心豊かなバレーボールマンになりたい」

これは、バレーボールを通して多くのことを学んできた人たちの願いが込められた詩で、体育館の壁に掲げられている。練習前に選手たち全員で読み上げると、練習に臨む気持ちが奮い立つのが分かる。それは、夏の大会へ向ける大きな目標があったからだ。昨年度は

一度も勝てないまま夏の大会を終えた。そんな昨年度の結果を受け止め、「郡入賞、中信1勝」という目標で、今年の夏の大会に挑んだ。結果は1勝4敗、中信大会に出場できずに終わった。

しかし、読み上げてきた詩のように、最後まであきらめずに一人ひとりが努力している姿や、苦しんでいる仲間を助ける姿が見られ、昨年よりも成長しているバレー部を感じた。

新チームも先輩たちの想いを汲み「あきらめずボールをつなぎ郡入賞、中信1勝」が目標だ。男子バレーボール部は今までの先輩の気持ちを背負って、一步一步前進している。

(顧問 高木 剛)

## 村への思い⑤

大桑村は、わたしの第二の故郷です



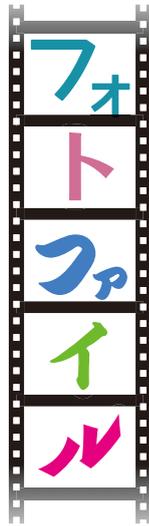
須原本町 木下景子さん

大桑村での暮らしも10年目に突入しました。移住して一番ありがたいことは、この素晴らしい環境で子育てが出来ていること…いえ、親のわたしも一緒に「育てていただいている」というのが本当のところですよ。

美味しい水・空気・お米・郷土食。温かい地域の方々。この地ならではの丁寧な暮らし。爽やかな気候（冬の厳しさは我慢我慢）わたしは本当に大桑村が大好きです。

しかし子供たちには、外の世界を知り視野を広げて欲しいとも思います。少子高齢化・人口減少が危惧されてはおりますが、いったん離れたとしても、外から眺めてみれば大桑村の魅力にきっと気が付くはずですよ。

そして、その時にはいつでも帰って来られる故郷として、大桑村は存続していかなければならないと思っています。



表紙撮影

中川孝志さん（中津川市）

▼郷里の絶溪（景）

今年大人気のNHK

ドラマは「半分、青

い。」阿寺溪谷は「全

部、青い。」この美し

い溪谷をフィルム時代

から30年余り撮り続け、

表題を水の青、木々の

緑を表現した「蒼流シ

リーズ」として写真展

に出品しています。こ

の写真は青の流れを切

り取り作品にしました。

暑さ厳しい時節柄この

写真により少しでも涼しさをお届けできれば幸いです。特に私の好む季節は青い水と白い雪の「冬の阿寺溪谷」です。

議会報編集特別委員  
委員長 木戸 勘一  
副委員長 瓜尾美佐子  
委員 沼 友行  
委員 水野 進

大前今朝男